

レッスン 4



学生用ノート | 日本語

I. 奴隷となったイスラエル

A. 神がアブラハムに預言されたように、イスラエルは奴隷とされました。

創世記15:13「時に主はアブラムに言われた、「あなたはよく心にとめておきなさい。あなたの子孫は他の国に旅びととなって、その人々に仕え、その人々は彼らを四百年の間、悩ますでしょう。」

1. ヘブル人に敵対する新しいパロがエジプトを支配しました。

出エジプト記1:8「ここに、ヨセフのことを知らない新しい王が、エジプトに起った。」

出エジプト記1:10-14「さあ、われわれは、抜かりなく彼らを取り扱おう。彼らが多くなり、戦いの起るとき、敵に味方して、われわれと戦い、ついにこの国から逃げ去ることのないようにしよう。¹¹そこでエジプトびとは彼らの上に監督をおき、重い労役をもって彼らを苦しめた。彼らはパロのために倉庫の町ピトムとラメセスを建てた。¹²しかしイスラエルの人々が苦しめられるにしたがって、いよいよふえひろがるので、彼らはイスラエルの人々のゆえに恐れをなした。¹³エジプトびとはイスラエルの人々をきびしく使い、¹⁴つらい務をもってその生活を苦しめた。すなわち、しっくいこね、れんが作り、および田畑のあらゆる務に当らせたが、そのすべての労役はきびしかった。」

2. パロはヘブル人の男の赤ちゃんを殺そうとしました。

出エジプト記1:16-17「言った、「ヘブルの女のために助産をするとき、産み台の上を見て、もし男の子ならばそれを殺し、女の子ならば生かしておきなさい」。¹⁷しかし助産婦たちは神をおそれ、エジプトの王が彼らに命じたようにはせず、男の子を生かしておいた。」

出エジプト記1:22「そこでパロはそのすべての民に命じて言った、「ヘブルびとに男の子が生れたならば、みなナイル川に投げこめ。しかし女の子はみな生かしておけ」。」

ローマ8:28「神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。」

 **#1:** 神は、良いことも悪いこともすべて用いて、私たちを_____から解放し、祝福してくれます。

B. モーセ — 神に選ばれた救出者

1. モーセは、パロの軍から救い出され、隠された赤ちゃんの一人でした。
2. モーセはパロの娘に見つけられ、彼女の養子となりました。

出エジプト記2:5-6「ときにパロの娘が身を洗おうと、川に降りてきた。侍女たちは川べを歩いてしたが、彼女は、葦の中にかごのあるのを見て、つかえめをやり、それを取ってこさせ、⁶あけて見ると子供がいた。見よ、幼な子は泣いていた。彼女はかわいそうに思って言った、「これはヘブルびとの子供です」。」

質問: パロの娘は、どうしてその赤ちゃんがヘブル人の子どもだと分かったのでしょうか。

答え: _____の契約によってです。



出エジプト記2:7-10「そのとき幼な子の姉はパロの娘に言った、「わたしが行ってヘブルの女のうちから、あなたのために、この子に乳を飲ませるうばを呼んでまいりましょうか」。⁸パロの娘が「行ってきてください」と言うと、少女は行ってその子の母を呼んできた。⁹パロの娘は彼女に言った、「この子を連れて行って、わたしに代り、乳を飲ませてください。わたしはその報酬をさしあげます」。女はその子を引き取って、これに乳を与えた。¹⁰その子が成長したので、彼女はこれをパロの娘のところに連れて行った。そして彼はその子となった。彼女はその名をモーセと名づけて言った、「水の中からわたしが引き出したからです」。」

 **#2:** 神はご自身の民の益のために _____ を決してやめられません。

3. モーセは自分自身の力でイスラエルを救おうとしました。

出エジプト記2:11-15「モーセが成長して後、ある日のこと、同胞の所に出て行って、そのはげしい労役を見た。彼はひとりのエジプトびとが、同胞のひとりであるヘブルびとを打つを見たので、¹²左右を見まわし、人のいないのを見て、そのエジプトびとを打ち殺し、これを砂の中に隠した。¹³次の日また出て行って、ふたりのヘブルびとが互に争っているのを見、悪い方の男に言った、「あなたはなぜ、あなたの友を打つのですか」。¹⁴彼は言った、「だれがあなたを立てて、われわれのつかさ、また裁判人としたのですか。エジプトびとを殺したように、あなたはわたしを殺そうと思うのですか」。モーセは恐れた。そしてあの事がきくと知れたのだと思った。¹⁵パロはこの事を聞いて、モーセを殺そうとした。しかしモーセはパロの前をのがれて、ミデヤンの地に行き...」

モーセの人生(120年)は、下記、3つに分けられます(各40年)。

- a. **豊かさの時期**(最初の40年) – パロの娘の息子として、モーセは自分が非常に**特別な存在**だと思っていました。
- b. **卑下の時期**(第二の40年) – 羊飼いで、モーセは**無に等しい存在**でした。
- c. **達成の時期**(第三の40年) – 救出者として、神は「**無に等しい者**」を通して**何ができるかを示されました**。

覚えていてください。高慢になりすぎはいけません。

「もしある人が、事実そうでないのに、自分が何か偉い者であるように思っているとすれば、その人は自分を欺いているのである。」 **ガラテヤ6:3**

「... 神は高ぶる者をしりぞけ、へりくだる者に恵みを賜う」 **ヤコブ4:6**

4. 神はご自身の民を束縛と圧迫から救い出すために、モーセを召されました。

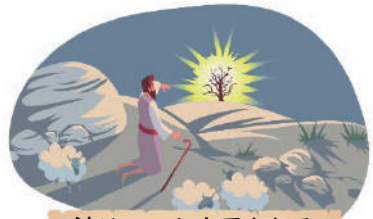
出エジプト記3:2-10「ときに主の使は、し

ばの中の炎のうちに彼に現れた。彼が見ると、しばは火に燃えているのに、そのしばはなくならなかった。³モーセは言った、「行ってこの大きな見ものを見、なぜしばが燃えてしまわないかを知ろう」。

⁴主は彼がきて見定めようとするのを見、神はしばの中から彼を呼んで、「モーセよ、モーセよ」と言われた。彼は「ここにいます」と言った。⁵神は言われた、「ここに近づいてはいけない。足からくつを脱ぎなさい。あなたが立っているその場所は聖なる地だからである」。⁶また言われた

、「わたしは、あなたの先祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である」。
モーセは神を見ることを恐れたので顔を隠した。⁷主はまた言われた、「わたしは、エジプトにいるわたしの民の悩みを、つぶさに見、また追い使う者のゆえに彼らの叫ぶのを聞いた。わたしは彼らの苦しみを知っている。⁸わたしは下って、彼らをエジプトびとの手から救い出し、これをかの地から導き上って、良い広い地、乳と蜜の流れる地...にに至らせようとしている。⁹いまイスラエルの人々の叫びがわたしに届いた。わたしはまたエジプトびとが彼らをしえたげる、そのしえたげを見た。

¹⁰さあ、わたしは、あなたをパロにつかわして、わたしの民、イスラエルの人々をエジプトから導き出させよう。」



神はモーセを召される
出エジプト記 3:1-4:17

砂漠にいたモーセは、
神からエジプトに戻り、神の民を
奴隷制と抑圧から救い出すよう
召された。

5. モーセは質問をし始め、神はご自身の御名を明らかにされました。

出エジプト記3:11-14「モーセは神に言った、「わたしは、いったい何者でしょう。わたしがパロのところへ行って、イスラエルの人々をエジプトから導き出すのでしょうか」。¹²神は言われた、「わたしは必ずあなたと共にいる。これが、わたしのあなたをつかわしたしるしである。あなたが民をエジプトから導き出したとき、あなたがたはこの山で神に仕えるであろう」。¹³モーセは神に言った、「わたしがイスラエルの人々のところへ行って、彼らに『あなたがたの先祖の神が、わたしをあなたがたのところへつかわされました』と言うとき、彼らが『その名はなんというのですか』とわたしに聞くならば、なんと答えましょうか」。¹⁴神はモーセに言われた、「わたしは、有って有る者」。また言われた、「イスラエルの人々にこう言いなさい、『わたしは有る』というかたが、わたしをあなたがたのところへつかわされました』と。」

イエス・キリストは、ご自身が「**I AM (わたしはある)**」であると言われました。

ヨハネ8:57-59「そこでユダヤ人たちはイエスに言った、「あなたはまだ五十にもならないのに、アブラハムを見たのか」。⁵⁸イエスは彼らに言われた、「よくよくあなたがたに言うておく。アブラハムの生れる前からわたしは、いるのである」。⁵⁹そこで彼らは石をとって、イエスに投げつけようとした。しかし、イエスは身を隠して、宮から出て行かれた。」

ヨハネ10:31-33「そこでユダヤ人たちは、イエスを打ち殺そうとして、また石を取りあげた。³²するとイエスは彼らに答えられた、「わたしは、父による多くのよいわざを、あなたがたに示した。その中のどのわざのために、わたしを石で打ち殺そうとするのか」。³³ユダヤ人たちは答えた、「あなたを石で殺そうとするのは、よいわざをしたからではなく、神を汚したからである。また、あなたは人間であるのに、自分を神としているからである」。」

ヨハネ8:24「だからわたしは、あなたがたは自分の罪のうちに死ぬであろうと、言ったのである。もしわたしがそういう者であることをあなたがたが信じなければ、罪のうちに死ぬことになるからである」。」

6. モーセはなおも神に言い訳を続けました。

出エジプト記4:10「モーセは主に言った、「ああ主よ、わたしは以前にも、またあなたが、しもべに語られてから後も、言葉の人ではありません。わたしは口も重く、舌も重いのです」。」

新約聖書ではモーセについて次のように語られています。

使徒行伝7:22「モーセはエジプト人のあらゆる学問を教え込まれ、言葉にもわざにも、力があつた。」

7. 神はモーセに、彼自身の生まれつきの能力や才能では使命を果たすことはできず、むしろ神で自身が彼を通して働かれることによって、イスラエルに救いをもたらすのだということを思い起こさせました。

出エジプト記4:11-12「主は彼に言われた、「だれが人に口を授けたのか。話せず、聞えず、また、見え、見えなくする者はだれか。主なるわたしではないか」。¹²それゆえ行きなさい。わたしはあなたの口と共にあって、あなたの言うべきことを教えるであろう」。」

新約聖書において、ペテロとヨハネもまた、優れた話し手ではありませんでした。

使徒行伝4:13「人々はペテロとヨハネとの大胆な話しぶりを見、また同時に、ふたりが**無学な、ただの人たち**であることを知って、不思議に思った。そして彼らがイエスと共にいた者であることを認め、」

神は、ご自身の働きをすることを喜んで受け入れる普通の人々を用いられます。「神の人」が偉大であればあるほど、その人はさらに「神のしもべ」なのです。

8. モーセのためらいは神の怒りを引き起こし、そのため神はアロンを彼のもとへ遣わされました。

出エジプト記4:13-14「モーセは言った、「ああ、主よ、どうか、ほかの適当な人をおつかわしてください」。¹⁴**そこで、主はモーセにむかって怒りを発して**言われた、「あなたの兄弟レビびとアロンがいるではないか。わたしは彼が言葉にすぐれているのを知っている。見よ、彼はあなたに会おうとして出てきている。彼はあなたを見て心に喜ぶであろう。」

II. 出エジプト - Exodus (出エジプト)」とは、「出て行くこと」または「脱出」を意味します。

コリント人への第一の手紙10:1-6「兄弟たちよ。このことを知らずにいてもらいたくない。わたしたちの先祖はみな雲の下におり、みな海を通り、²みな雲の中、海の中で、モーセにつくバプテスマを受けた。³また、みな同じ霊の食物を食べ、⁴みな同じ霊の飲み物を飲んだ。すなわち、彼らについてきた霊の岩から飲んだのであるが、この岩はキリストにほかならない。⁵しかし、彼らの中の大多数は、神のみこころにかなわなかったので、荒野で滅ぼされてしまった。⁶これらの出来事は、わたしたちに対する警告であって、彼らが悪をむさぼったように、わたしたちも悪をむさぼることのないためなのである。」

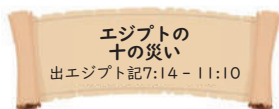
💡#3: イスラエルの出エジプトは、今日の私たちの_____の模範です。

A. モーセはファラオに、神の民を解放するよう求めました。

出エジプト記5:1-2「その後、モーセとアロンは行ってパロに言った、「イスラエルの神、主はこう言われる、『**わたしの民を去らせ、荒野で、わたしのために祭をさせなさい**』と」。²パロは言った、「主とはいったい何者か。わたしがその声に従ってイスラエルを去らせなければならないのか。わたしは主を知らない。またイスラエルを去らせはしない」。」



B. エジプトへのさばき



これらが十の災いです:

- ① 血 ② かえる ③ ぶよ(しらみ) ④ あぶ(ハエ)
⑤ 疫病(家畜の病気) ⑥ はれもの ⑦ 雹(ひょう) ⑧ いなご
⑨ 暗やみ ⑩ 初子の死



出エジプト記11:4-6「モーセは言った、「主はこう仰せられる、『真夜中ごろ、わたしはエジプトの中へ出て行くであろう。

5エジプトの国のうちのういごは、位に座するパロのういごをはじめ、ひきうすの後にいる、はしためのういごに至るまで、みな死に、また家畜のういごもみな死ぬであろう。6そしてエジプト全国に大いなる叫びが起るであろう。このようなことはかつてなく、また、ふたたびないであろう』と。」

C. 過越: エジプトにおけるイスラエルの救いの計画

1. 主は、イスラエルの民の救いのために具体的な指示を与えられました。

出エジプト記12:3-7「あなたがたはイスラエルの全会衆に言いなさい、『この月の十日におのおの、その父の家ごとに小羊を取らなければならない。すなわち、一家族に小羊一頭を取らなければならない。4もし家族が少なく一頭の羊を食べきれないときは、家のすぐ隣の人と共に、人数に従って一頭を取り、おのおの食べるところに応じて、小羊を見計らわなければならない。5小羊は傷のないもので、一歳の雄でなければならない。羊またはやぎのうちから、これを取らなければならない。6そしてこの月の十四日まで、これを守って置き、イスラエルの会衆はみな、夕暮にこれをほふり、7その血を取り、小羊を食する家の入口の二つの柱と、かもいにそれを塗らなければならない。」

出エジプト記12:12-13「その夜わたしはエジプトの国を巡って、エジプトの国における人と獣との、すべてのういごを打ち、またエジプトのすべての神々に審判を行うであろう。わたしは主である。13その血はあなたがたのおる家々で、あなたがたのために、しるしとなり、わたしはその血を見て、あなたがたの所を過ぎ越すであろう。わたしがエジプトの国を撃つ時、災が臨んで、あなたがたを滅ぼすことはないであろう。」

出エジプト記
12:5
小羊をとる

出エジプト記
12:7
血をとる

出エジプト記
12:7
血を塗る

過ぎ越し
出エジプト記12:1-36, 41-51

出エジプト記12:22-23「また一束のヒソプを取って鉢の血に浸し、鉢の血を、かもいと入口の二つの柱につけなければならない。朝まであなたがたは、ひとりも家の戸の外に出てはならない。²³主が行き巡ってエジプトびとを撃たれるとき、かもいと入口の二つの柱にある血を見て、主はその入口を過ぎ越し、滅ぼす者が、あなたがたの家にはいて、撃つのを許されないであろう。」

 #4: 神の救いの計画には、罪のない血が流され、その血が_____されることが必要でした。

2. 小羊の血。

ヨハネによる福音書1:29-30「その翌日、ヨハネはイエスが自分の方にこられるのを見て言った、「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。³⁰『わたしのあとに来るかたは、わたしよりもすぐれたかたである。わたしよりも先におられたからである』とわたしと言ったのは、この人のことである。」

ペテロの第一の手紙1:18-19「あなたがたのよく知っているとおりに、あなたがたが先祖伝来の空疎な生活からあがない出されたのは、銀や金のような朽ちる物によったのではなく、¹⁹きずも、しみもない小羊のようなキリストの尊い血によったのである。」

質問: なぜ神は、エジプトにいる彼らの家の門柱に小羊の血を塗ることを望まれたのでしょうか。

答え: 神はイスラエルの民に、自分たちの代わりに何か死んだことを見て_____。また神は、後の日にご自身が人となって来られ、私たちの罪のために十字架で死なれることを前もって示そうとしておられました。

3. イスラエルの民は、主が命じられたとおりに行いました。

出エジプト記12:28「イスラエルの人々は行ってそのようにした。すなわち主がモーセとアロンに命じられたようにした。」

4. 神は、常にご自分が語られたことを成し遂げられます。

出エジプト記12:29-31「夜中になって主はエジプトの国の、すべてのういご、すなわち位に座するパロのういごから、地下のひとやにおる捕虜のういごにいたるまで、また、すべての家畜のういごを撃たれた。³⁰それでパロとその家来およびエジプトびとはみな夜のうちに起きあがり、エジプトに大いなる叫びがあった。死人のない家になかったからである。³¹そこでパロは夜のうちにモーセとアロンを呼び寄せて言った、「あなたがたとイスラエルの人々は立って、わたしの民の中から出て行くがよい。そしてあなたがたの言うように、行って主に仕えなさい。」

D. イスraelはエジプトを出る

出エジプト記12:41「四百三十年の終りとなって、ちょうどその日に、主の全軍はエジプトの国を出た。」

III. 荒野におけるイスラエル

出エジプト記13:17-18「さて、パロが民を去らせた時、ペリシテびとの国の道は近かったが、神は彼らをそれに導かれなかった。民が戦いを見れば悔いてエジプトに帰るであろうと、神は思われたからである。¹⁸神は紅海に沿う荒野の道に、民を回らされた。イスラエルの人々は武装してエジプトの国を出て、上った。」

A. 昼も夜も神の臨在が彼らを覆った。

出エジプト記13:20-21「こうして彼らは更にスコテから進んで、荒野の端にあるエタムに宿営した。²¹主は彼らの前に行かれ、昼は雲の柱をもって彼らを導き、夜は火の柱をもって彼らを照し、昼も夜も彼らを進み行かせられた。」

B. 紅海を渡る

パロは心を変え、イスラエルの民をエジプトへ連れ戻すために追跡することを決めました。神は再び大いなる力をもってイスラエルを救い出されました。

出エジプト記14:5-6「民の逃げ去ったことが、エジプトの王に伝えられたので、パロとその家来たちとは、民に対する考えを変えて言った、「われわれはなぜこのようにイスラエルを去らせて、われわれに仕えさせないようにしたのであろう」。⁶それでパロは戦車を整え、みずからその民を率い、」

出エジプト記14:19-26, 28「このとき、イスラエルの部隊の前に行く神の使は移って彼らのうしろに行った。雲の柱も彼らの前から移って彼らのうしろに立ち、²⁰エジプトびとの部隊とイスラエルびとの部隊との間にきたので、そこに雲とやみがあり夜もすがら、かれとこれと近づくことなく、夜がすぎた。

²¹モーセが手を海の上にさし伸べたので、主は夜もすがら強い東風をもって海を退かせ、海を陸地とされ、水は分かれた。²²イスラエ

ルの人々は海の中のかわいた地を行つたが、水は彼らの右と左に、かきとなった。²³エジプトびとは追ってきて、パロのすべての馬と戦車と騎兵とは、彼らのあとについて海の中にはいった。²⁴暁の更に、主は火と雲の柱のうちからエジプトびとの軍勢を見おろして、エジプトびとの軍勢を乱し、²⁵その戦車の輪をきしらせて、進むのに重くされたので、エジプトびとは言った、「われわれはイスラエルを離れて逃げよう。主が彼らのためにエジプトびとと戦う」。²⁶そのとき主はモーセに言われた、「あなたの手を海の上にさし伸べて、水をエジプトびとと、その戦車と騎兵との上に流れ返らせなさい」。

…²⁸水は流れ返り、イスラエルのあとを追って海にはいった戦車と騎兵およびパロのすべての軍勢をおおい、ひとりも残らなかった。」



C. 神はイスラエルの民のすべての必要を備えられた



- 苦い水が甘くされた –
(出エジプト記15:23-26) 神は奇跡の水を与えられた。
- マナとうずらが与えられた –
(出エジプト記16:1-20) 神は奇跡の食べ物を与えられた。

- 岩から水が出た – (出エジプト記17:1, 6)
神は再び奇跡の水を与えられた。

主は旧約聖書におけるこれらの備えの例を通して、私たちに必要なすべてを与えてくださることを示しておられます。



💡#5: もし私たちが神を信頼し、従うなら、神は私たちの必要をすべて_____!

D. シナイ山におけるイスラエル

神はモーセに、イスラエルを治めるための**道徳律・市民法・社会法**、そして**幕屋**を建てる計画を与えられました。

出エジプト記24:12「ときに主はモーセに言われた、「山に登り、わたしの所にきて、そこにいなさい。彼らを教えるために、わたしが律法と戒めとを書きしるした石の板をあなたに授けるであろう。」



E. イスラエルは神から離れ、荒野で死んだ

民数記14:4「彼らは互に言った、「わたしたちはひとりのかしらを立てて、エジプトに帰ろう。」」

民数記14:30-35「エフンネの子カレブと、ヌンの子ヨシュアのほかは、わたしがかつて、あなたがたを住ませようと、手をあげて誓った地に、はいることができないであろう。³¹しかし、あなたがたが、えじきになるであろうと言ったあなたがたの子供は、わたしが導いて、はいるであろう。彼らはあなたがたが、いやしめた地を知るようになるであろう。³²しかしあなたがたは死体となってこの荒野に倒れるであろう。³³あなたがたの子たちは、あなたがたの死体が荒野に朽ち果てるまで四十年のあいだ、荒野で羊飼となり、あなたがたの不信の罪を負うであろう。³⁴あなたがたは、かの地を探った四十日の日数にしたがい、その一日を一年として、四十年のあいだ、自分の罪を負い、わたしがあなたがたを遠ざかったことを知るであろう。³⁵主なるわたしがこれを言う。わたしは必ずわたしに逆らって集まったこの悪い会衆に、これをことごとく行うであろう。彼らはこの荒野に朽ち、ここで死ぬであろう』。」



民数記13:1-14:45

 **#6:** 私たちは聖書を知っているだけで救われるのではなく、神の御言葉に従うことによって救われる。

レッスン5では、**神がどのようにして周囲の文化から分離された聖なる国民を造られたのか**、そして「幕屋」について学びます。

-----○○○ 補足資料 ○○○-----

IV. 約束の地の征服

A. モーセの死

1. 神はモーセが約束の地に入ることを禁じられた。

民数記20:7-12「主はモーセに言われた、⁸「あなたは、つえをとり、あなたの兄弟アロンと共に会衆を集め、その目の前で岩に命じて水を出させなさい。こうしてあなたは彼らのために岩から水を出して、会衆とその家畜に飲ませなさい」。

⁹モーセは命じられたように主の前にあるつえを取った。¹⁰モーセはアロンと共に会衆を岩の前に集めて彼らに言った、「そむく人たちよ、聞きなさい。われわれがあなたがたのためにこの岩から水を出さなければならないのであろうか」。

¹¹モーセは手をあげ、つえで岩を二度打つと、水がたくさんわき出たので、会衆とその家畜はともに飲んだ。¹²そのとき主はモーセとアロンに言われた、「あなたがたはわたしを信じないで、イスラエルの人々の前にわたしの聖なることを現さなかったから、この会衆をわたしが彼らに与えた地に導き入れることができないであらう。」

2. モーセはネボ山から約束の地を見ることを許された。その後、彼は死に、主によって葬られた。

申命記34:1-7「モーセはモアブの平野からネボ山に登り、エリコの向かいのピスガの頂へ行った。そこで主は彼にギレアデの全地をダンまで示し、²ナフタリ全部、エフライムとマナセの地およびユダの全地を西の海まで示し、³ネゲブと低地、すなわち、しゅろの町エリコの谷をゾアルまで示された。⁴そして主は彼に言われた、「わたしがアブラハム、イサク、ヤコブに、これをあなたの子孫に与えると言って誓った地はこれである。わたしはこれをあなたの目に見せるが、あなたはそこへ渡って行くことはできない」。⁵こうして主のしもべモーセは主の言葉のとおりモアブの地で死んだ。⁶主は彼をベテペオルに対するモアブの地の谷に葬られたが、今日までその墓を知る人はいない。⁷モーセは死んだ時、百二十歳であったが、目はかすまず、気力は衰えていなかった。」

B. ヨシュアが民を導く

1. 指導者としての務めがモーセからヨシュアへ受け継がれた。

申命記34:8-9「イスラエルの人々はモアブの平野で三十日の間モーセのために泣いた。そしてモーセのために泣き悲しむ日はついに終わった。
⁹ヌンの子ヨシュアは知恵の霊に満ちた人であった。モーセが彼の上に手を置いたからである。イスラエルの人々は彼に聞き従い、主がモーセに命じられたとおりにおこなった。」



2. ヨシュアは神から命令と指示を受けた。

ヨシュア記1:1-9「主のしもべモーセが死んだ後、主はモーセの従者、ヌンの子ヨシュアに言われた、²「わたしのしもべモーセは死んだ。それゆえ、今あなたと、このすべての民とは、共に立って、このヨルダンを渡り、わたしがイスラエルの人々に与える地に行きなさい。³あなたがたが、足の裏で踏む所はみな、わたしがモーセに約束したように、あなたがたに与えるであろう。⁴あなたがたの領域は、荒野からレバノンに及び、また大川ユフラテからヘテびとの全地にわたり、日の入る方の大海に達するであろう。⁵あなたが生きながらえる日の間、あなたに当ることのできる者は、ひとりもないであろう。わたしは、モーセと共にいたように、あなたと共にあるであろう。わたしはあなたを見放すことも、見捨てることもしない。⁶強く、また雄々しくあれ。あなたはこの民に、わたしが彼らに与えると、その先祖たちに誓った地を獲させなければならない。⁷ただ強く、また雄々しくあって、わたしのしもべモーセがあなたに命じた律法をことごとく守って行い、これを離れて右にも左にも曲ってはならない。それはすべてあなたが行くところで、勝利を得るためである。⁸この律法の書をあなたの口から離すことなく、昼も夜もそれを思い、そのうちにしるされていることを、ことごとく守って行わなければならない。そうするならば、あなたの道は栄え、あなたは勝利を得るであろう。⁹わたしはあなたに命じたではないか。強く、また雄々しくあれ。あなたがどこへ行くにも、あなたの神、主が共におられるゆえ、恐れてはならない、おののいてはならない」。」

C. ヨルダン川を渡る

1. 増水したヨルダン川が、彼らがカナンへの入ることを妨げていた。川を渡するためには奇跡が必要であった。祭司たちが川に足を踏み入れた時、神は水を分ける奇跡を行われた。



ヨルダン川を
わたる
ヨシュア記3:1-17

ヨシュア記3:14-17「こうして民はヨルダンを渡ろうとして天幕をいで立ち、祭司たちは契約の箱をかき、民に先立って行ったが、¹⁵箱をかく者がヨルダンにきて、**箱をかく祭司たちの足が水ぎわにひたると同時に**、——ヨルダンは刈入れの間中、岸一面にあふれるのであるが、——¹⁶上から流れくだる水はとどまって、はるか遠くのザレタンのかたわらにある町アダムのあたりで、うず高く立ち、アラバの海すなわち塩の海の方に流れくだる水は全くせきとめられたので、民はエリコに向かって渡った。¹⁷すべてのイスラエルが、かわいた地を渡って行く間、主の契約の箱をかく祭司たちは、**ヨルダンの中のかわいた地に立っていた。そしてつい**

に民はみなヨルダンを渡り終った。」

2. ヨシュアは、ヨルダン川を渡った奇跡を記念するために、記念碑を築くよう命じた。

ヨシュア記4:8-9「イスラエルの人々はヨシュアが命じたようにし、主がヨシュアに言われたように、イスラエルの人々の部族の数にしたがって、**ヨルダンの中から十二の石を取り、それを携えて渡り、彼ら宿る場所へ行って、そこにすえた。**⁹ヨシュアはまたヨルダンの中で、**契約の箱をかく祭司たちが、足を踏みとどめた所に、十二の石を立てたが、今日まで、そこに残っている。**」



カナンの征服
ヨシュア記4:1-9

D. その地を所有する

1. 神は彼らに**エリコ**を攻め取るよう命じられた。イスラエルの民は六日間、毎日一度ずつエリコの町の周りを行進した。七日目には七回町の周りを行進した。そして七日目の七回目の行進の終わりに、彼らはラッパを吹き鳴らし、大声で叫んだ。すると城壁は崩れ落ちた。（ヨシュア記6:1-5）

ヨシュア記6:20「そこで民は呼ばわり、祭司たちはラッパを吹き鳴らした。民はラッパの音を聞くと同時に、みな大声をあげて呼ばわったので、石がきはくずれ落ちた。そこで民はみな、すぐに上って町にはいり、町を攻め取った。」

神は彼らに従うべき具体的な指示を与えられました。町の周りを歩いて征服するという方法は愚かに思えたが、彼らに従ったので勝利がもたらされました。「それなのに神は、知者はずかしめるために、この世の愚かな者を選び、強い者はずかしめるために、この世の弱い者を選び、」 **コリント人への第一1:27**

- 次にイスラエルは**アイ**に向かったが、陣営の中に罪があったため敗北した。アカンの罪が明らかにされ、彼とその家族は滅ぼされた。(ヨシュア記 7:1-26)
- 神の力によって、その地は征服され、分配された。イスラエルはその地を占領するために、あらゆる町や村と戦った。その時、ヨシュアは民に選択を迫った。

ヨシュア記24:14-15「それゆえ、いま、あなたがたは主を恐れ、まことと、まごころと、真実とをもって、主に仕え、あなたがたの先祖が、川の向こう、およびエジプトで仕えた他の神々を除き去って、主に仕えなさい。¹⁵もしあなたがたが主に仕えることを、こころよしとしないのならば、あなたがたの先祖が、川の向こうで仕えた神々でも、または、いまあなたがたの住む地のアモリびとの神々でも、**あなたがたの仕える者を、きょう、選びなさい。**ただし、わたしとわたしの家とは共に主に仕えます」。

- 長い奉仕の生涯の後、ヨシュアは死んだ。ヨシュアの後継者はいなかった。

ヨシュア記24:29「これらの事の後、主のしもべ、ヌンの子ヨシュアは**百十歳**で死んだ、」

V. 士師の時代

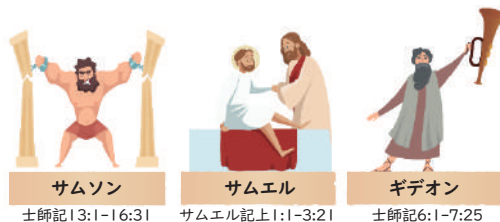
A. 悲しいことに、ヨシュアの死後、イスラエルは深い罪に陥った。(士師記 2:7-23)

士師記2:16「その時、主はさばきづかさ起して、彼らをかすめ奪う者の手から救い出された。」

士師とは、主が民を守るために任命されたイスラエル人たちである。多くの場合、士師たちは政治と宗教生活の両方に影響を与えた。

B. イスラエルには合計十五人の士師がいた。

そのうち一人は女性(デボラ)であり、二人は祭司(エリとサムエル)であった。また、特によく知られている士師としてギデオンとサムソンがいる。神は彼らを用いて、ご自身の民を束縛から解放へと導かれ、やがてイスラエルが最初の王を選ぶまで守られた。サムエルは士師の時代と王政時代をつなぐ人物である。(使徒行伝13:19-20)



VI. 統一王国

A. 神政政治から王政へ ― イスラエルは王を求めた。

預言者サムエルは神の導きのもとでイスラエルを治めていたが、イスラエルの民は神が与えた指導に満足していなかった。イスラエルは周囲の国々のように、自分たちにも王を持つことを望んだ。イスラエルは目に見えない王である神を退け、諸国に見せることのできる人間の王を求めた。こうしてイスラエルに王政が始まった。

サムエル記上8:4-8「この時、イスラエルの長老たちはみな集まってラマにおけるサムエルのもとにきて、⁵言った、「あなたは年老い、あなたの子たちはあなたの道を歩まない。今ほかの国々のように、われわれをさばく王を、われわれのために立ててください」。⁶しかし彼らが、「われわれをさばく王を、われわれに与えよ」と言うのを聞いて、サムエルは喜ばなかった。そしてサムエルが主に祈ると、⁷主はサムエルに言われた、「民が、すべてあなたに言う所の声に聞き従いなさい。彼らが捨てるのはあなたではなく、わたしを捨てて、彼らの上にわたしが王であることを認めないのである。⁸彼らは、わたしがエジプトから連れ上った日から、きょうまで、わたしを捨ててほかの神々に仕え、さまざまの事をわたしにしたように、あなたにもしているのである。」

B. 最初の三人の王たちの統治は、それぞれ四十年間続いた。

1. 最初の王はサウルであった。初めサウルは非常に謙遜であったが、時が経つにつれて神の前における自分の立場を忘れてしまった。やがてサウルは神の命令に背くようになった。サムエルは、その不従順のゆえにサウルを責めた。

サムエル記上15:22「サムエルは言った、／「主はそのみ言葉に聞き従う事を喜ばれるように、／燔祭や犠牲を喜ばれるであろうか。見よ、従うことは犠牲にまさり、／聞くことは雄羊の脂肪にまさる。」

- a. 神はサウルを退けられ、主の霊は彼から去った。
(サムエル記第一 16:1, 14)

サウル王の
悲劇的な最期



2. 神は別の王としてダビデを選ばれた。

彼は若い時に王として油注がれた。

サムエル記上16:13「サムエルは油の角をとって、その兄弟たちの中で、彼に油をそそいだ。この日からのち、主の霊は、はげしくダビデの上に臨んだ。そしてサムエルは立ってラマへ行った。」



ダビデ王、賛美の英雄

- a. ダビデは「神の御心になかった人」として知られていた。

使徒行伝13:22「それから神はサウロを退け、ダビデを立てて王とされたが、彼についてあかしをして、『わたしはエッサイの子ダビデを見つけた。彼はわたしの心になかった人で、わたしの思うところを、ことごとく実行してくれるであろう』と言われた。」

- b. ダビデ王については、多くの偉大な聖書の物語がある。ダビデは王になる前、ゴリアテという巨人と戦い、勝利した(サムエル記上17:38-51)。ダビデ王は詩篇の主な著者となり、聖書の中でも最もよく知られている聖句のいくつかを書いた。しかし、彼は完全ではなく、他人の妻と関係を持ち、その夫をついには死なせてしまった(サムエル記下 11:2-9)。聖書には、彼の悔い改めの言葉が詩篇51篇に記されている。

3. 第三の王としてソロモンが選ばれた。ソロモンは、人類で最も知恵ある者として有名になった。

列王記上4:29-31「神はソロモンに非常に多くの知恵と悟りを授け、また海べの砂原のように広い心を授けられた。³⁰ソロモンの知恵は東の人々の知恵とエジプトのすべての知恵にまさった。³¹彼はすべての人よりも賢く、エズラびとエタンよりも、またマホルの子ヘマン、カルコル、ダルダよりも賢く、その名声は周囲のすべての国々に聞えた。」



- a. 彼の最大の功績は、主の神殿を建てたことであつた。

列王記上6:1「イスラエルの人々がエジプトの地を出て後四百八十年、ソロモンがイスラエルの王となって第四年のジフの月すなわち二月に、ソロモンは主のために宮を建ててことを始めた。」

神殿での最初の礼拝は非常に素晴らしいものであつた。

列王記上8:10-11「そして祭司たちが聖所から出たとき、雲が主の宮に満ちたので、¹¹祭司たちは雲のために立って仕えることができなかつた。主の栄光が主の宮に満ちたからである。」

- b. ソロモンの人生の終わりは悲しいものであつた。彼は深い知恵を与えられていたにもかかわらず、その妻たちが「彼の心を他の神々へ向けさせた」。神は彼に二度現れたが、彼は主の命令を守らなかつた。(列王記上 11:4-11)

VII. 分裂王国

ソロモンの死後、民は変革を求めた。ソロモンの息子であるレハベアム王は、若い助言者たちの意見を採用した。その結果、反乱が起こり、王国は北と南、すなわちイスラエルとユダに分裂した。



A. 北王国 — イスラエル

首都: サマリア ; 10部族: 19人の王

神は裁きを警告するために預言者たちを遣わされた。その中には、エリヤとエリシャという二人の人物があり、多くの奇跡を行った。彼らの預言はすべて成就した。イスラエルはアッシリヤ捕囚となった。(列王記下 17:6)

B. 南王国 — ユダ

首都: エルサレム ; 2部族: 19人の王と1人の女王

神は、迫り来る裁きを警告するためにエレミヤとイザヤを遣わされた。ユダはバビロン捕囚となった。(列王記下 25:1-12)

VIII. エルサレムへの帰還

A. ユダヤ人たちは紀元前536年に神殿を再建するために帰還した。

ゼルババベルは5万人のユダヤ人を率いて帰還した。その後、エズラ(紀元前458年)およびネヘミヤ(紀元前444年)による帰還も行われた。彼らは律法を回復し、城壁を築いた。(エズラ記1:1-2、5:1-2、7:6-10、ネヘミヤ記1:1-3、6:15-16)

ユダヤ人たちは反対に直面し、そのために落胆した。神はハガイ、ゼカリヤ、マラキのような預言者たちを遣わし、民を励まし、また戒められた。

イスラエルの民は再び、自分たちよりも邪悪で強大な国々の支配のもとで生きなければならない民となった。約400年もの間、彼らは神からの預言的なメッセージを聞くことがなかった。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

Tokyo Worship Tabernacle Bible School 2026
[Material based on "God's Plan Revealed", Joy Fellowship, Singapore]

東京賛美の宮聖書学校2026

[「神の計画が明らかに」、ジョイ・フェロウシップ、シンガポール、に基づく資料]

Tokyo Worship Tabernacle 東京賛美の宮

Japan United Pentecostal Church :: 日本ユナイテッドペンテコステ教会

Toshin Building B2F 4-33-10 Yoyogi, Shibuya-ku, Tokyo 151-0053

〒151-0053 東京都渋谷区代々木4-33-10 トーシンビルB 2F

03-3377-5768

www.tokyoworshiptabernacle.org • tokyoworshiptabernacle@gmail.com